2026 年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：平松　愛翔
所属：中国語学科　2 年次

今回の研修では、北京外国語大学において語学研修プログラムに参加し、中国語の授業を中心に学びました。授業では実践的な中国語会話力の向上に重点が置かれ、現地の教員の方々は文法や発音の誤りを丁寧に説明してくださる一方、生徒の発言を待って引き出す授業形態を徹底しており、受け身ではなく自分で説明する機会が設けられ、自然と身についたと感じています。

特に成長したと実感したのは、準備した言葉・文・原稿に頼らず、その場の状況に応じて中国語を組み立てて話す能力です。研修前は翻訳文や事前に準備した文章を発表したりする形が中心でしたが、現地でのやり取りを通じ伝えたい内容を即興的に言い換えたり、聞き手の反応を見ながら説明を補ったりする柔軟さを身につけることができました。

また、現地の教職員の方々との交流では、日本の食文化や年中行事について紹介する機会があり、鶏の足や羊肉料理など中国語の食文化の違いを話題にして、双方の文化への理解を深め合うことができました。単なる知識の伝達ではなく、相手の反応を見ながら説明を工夫する経験は、語学力だけでなくコミュニケーション力の向上にもつながったと思います。

今回の研修は、卒業後の進路を考えるうえでも大きな意味を持ちました。実際に中国語を使って現地の人々とコミュニケーションをとる経験を通じ、語学を生かした仕事に対する具体的なイメージを持つことができ、今後の就職活動や進路選択、長期留学などにおいて重要な指針になりました。